

### 【特別寄稿】について

本号に掲載されている孫樹林著「島根大学における初修外国語としての中国語教育のあるべき姿を探って」は、2014年6月15日に本学で開催された「第62回中国・四国地区大学教育研究会 外国語（初修）分科会」において口頭発表されたものである。その内容は「外国語（日本語を含む）教育に資するもの」という本ジャーナルの趣旨に適しており、編集委員会の判断で、論文としての寄稿をお願いした。快く受諾してくださった孫樹林先生にお礼申し上げます。なお、先の「分科会」においては、韓国・朝鮮語担当である林河運先生による「韓国・朝鮮語における授業活性化に向けての試み—文法授業でのグループ学習による実践的考察—」という発表もなされた。その内容は、本ジャーナル第9号（pp.119-133）で見ることができる（編集委員）。